

ののほなだより

2025 年 9 月

ののほな保育園・ののほな保育園そら 075-354-6927

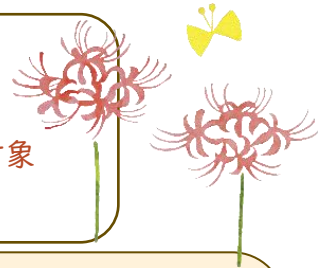


9 月の予定

17 日（水）お誕生会

18 日（木）親子ひろば ※未就園児対象

24 日（火）身体測定・避難訓練



暑い中つとにご参加ありがとうございます

今年は記録的な長い夏で、9 月もしばらくはきびしい残暑が続きそうですが、外遊びができる日をみんなで心待ちにしています。水遊びにもすっかり慣れて、色遊びや泡遊びなどにも挑戦しながら、それぞれ楽しく遊んでいます。夏場はどうしても体力が落ちがちなので、少しずつ運動する機会を増やしながら、秋に向けて丈夫な身体づくりをしていきます。どのクラスでも子どもたちどうしの関わり合いが深まってきて、様々な表情で言葉を交わしたり、上手にまねっこしたりと、保育園ならではの成長が見られています。ときにはおもちゃの取りあいや思いの違いで、けんかになることもありますが、それも貴重な成長の機会ととらえて、仲立ちしながらじっくり見守っていきたいと思います。保護者の皆さんも、暑さでお疲れのことと思いますので、お身体に気をつけてお過ごしください。

【園からのお知らせ】

- ・台風等の災害時の対応 7:30 の段階で「特別警報」「暴風警報」または「警戒レベル3」以上が出た場合は、休園とします（11:00 までに解除された場合は再開）。保育時間中に上記の警報等が発令された場合は、速やかにお迎えをお願いします。基本ルクミーでのお知らせとなりますので、こまめにご確認ください。
- ・感染症情報 伝染性紅斑（リンゴ病）・ヘルパンギーナ・百日咳の流行が続いています。新型コロナウイルス感染症もやや増加しており、新学期から警戒が必要です。夏の疲れも出る頃ですので、体調管理に十分気をつけてお過ごしください。
- ・ののほな親子ひろば 未就園児を対象に親子ひろば開催します（今回は 9/18 の 10～11 時）。見学を兼ねてゆったり親子ですごす時間にしますので、お知り合いで入園検討中の方などいらっしゃいましたら、お気軽にお声かけください。

園長コラム 生きる力をのばす「体験」



子どもの心と身体がのびのびと育ち、自分らしく生きていく力を育てていくうえで、「豊かな体験」は非常に重要だと考え、私たちの園でもできる限り様々な機会をつくりたいと考えています。近年、インターネットなど間接的な情報・知識に触れる経験が増える一方で、直接自分で体験する機会については個人差が大きく、「体験格差」などという言葉さえ聞きます。ただ習い事にたくさん通ったり、特別な旅行に出かけたりするだけが「体験」の豊かさではなく、近所の公園でゆっくり過ごしたり、絵本をじっくり味わうだけでも、子どもたちにとって貴重な自然・文化体験になるだろうと思います。

汐見稔幸『子どもの生きる力をのばす5つの体験』のなかでは、「好奇心や探求心を広げる自然体験」「感性を刺激する本物体験」「想像力や思考力が高まる没頭体験」「解決する力がつく失敗体験」「自信につながる成功体験」が挙げられています。自然体験やアートなど本物体験は、散歩や野外活動の中での生き物や風景との出会い・発見や、美しいものを見たりつくる楽しさを味わう経験など、園でも大切にしているものです。また普段の遊びや生活の中で、失敗する経験もあえて避けないで挑戦することや、成功したときには思いきりほめて自信をつけることは、保育のなかで意識しています。

「没頭体験」は少しわかりにくいですが、好きな遊びや興味のあることに夢中になって、時間を忘れて取り組むことで、集中力や持続力が育っていくことにつながります。そのため子どもが関心を持っているものを、あらかじめ決めつけずに観察し、そこから広げたり深めたりできるように、環境をつくる必要があるだろうと思います。園でもお家でも、どうしても（おとなの）時間の制約もありますが、できるだけ途中で切らず、じっくり待ったり次の日も継続してできるよう、見守っていきたいですね。なかなかおとなが望むものに興味を持つとは限りませんが（ダンゴムシとか石ころとか…）、「何か」に夢中になって続けること自体が、心の成長には大切なのだらうと思います。興味を広げるために、特別にお金をかけなくても、公園や自然豊かな場所や、図書館や買い物などに一緒にお出かけしたり、お家で料理やお手伝いをするこも、子どもたちにとって貴重な体験になるでしょう。お仕事・家事で忙しい毎日だと思いますが、少し涼しくなってきたら、おとなも一緒に楽しみながら、子どもといろいろな体験をしていけるといいですね。

参考図書 汐見稔幸『子どもの生きる力をのばす5つの体験』（辰巳出版）



今月の一冊 作・絵 いわむら かずお
『14 ひきのあさごはん』（童心社）

14匹の野ネズミの家族たちが、朝起きてごはんの準備に、木の実を採ったりお料理したり…それぞれの表情や動きの面白さ、細かく美しく描かれた花・虫たち。子どもたちは指差ししながら、夢中で好きなものを探して、引き込まれていきます。言葉もやさしく語りかけていて、繰り返し読みたくなる魅力的な絵本です。